



紅葉の錦、小岱山を飾る ～第5回紅葉狩りウォーク～

11月22日(日)、小岱山の林道沿いでおおよそ150人が参加して行われました。参加者は、地元住民の皆さんの手で植えられている約800本の紅葉を愛でながら約5キロメートルを歩き、色鮮やかな秋の一日を楽しみました。



↑紅葉の美しさに、足取りも軽やかです

子ども会活動への貢献に対し 九州子ども会連合会表彰

11月18日(水)、荒尾市子ども会連合会橋本誠剛会長と今回表彰を受けた小山利幸さんが市役所を訪れ、市長に表彰の報告を行いました。小山さんはおおよそ20年間地域の子ども会と市子ども会連合会の活動に携わり、子どもたちの健全育成に尽力されています。



↑右から小山利幸さん、前畑市長、橋本誠剛会長

長年の火災予防活動を称え 市内2団体が県知事表彰

11月16日(月)、月田区年末特別警戒団と大正町自警団が市役所を訪れ、長年の火災予防活動が認められ県知事表彰を受けたことを市長へ報告しました。両団体は地域で発生した大規模火災などをきっかけに始まっていて、20年以上にわたり活動されています。



↑月田区年末自警団(右)と大正町自警団(左)の皆さん。着実な活動で地域を火災から守っています

荒尾高校ラグビー部 全国大会に出場決定!

11月23日(月・祝)に開催された第89回全国高校ラグビー大会県予選決勝戦で荒尾高校ラグビー部が九州学院を43・5で下し、2年ぶり4度目の全国大会出場を決めました。12月27日(日)、東大阪市の花園ラグビー場で開幕する全国大会ではベスト8以上の成績をめざします。



↑全国大会での活躍を楽しみにしています!

100歳おめでとうございます 下田 イサさん(宮内出目東)

11月に100歳のお誕生日を迎えられた下田イサさん。11月25日(水)前畑荒尾市長より記念品が贈呈されました。ご家族、施設職員の方々に囲まれ、にこやかな笑顔で市長訪問のひと時を過ごされました。



ますますお元気でお過ごしください

2030 あらお有明優都戦略 事業 花のある町並みづくり事業で 花を植えました!

11月22日(日)、およそ50人の参加者が、花のある町並みづくりを目指し、県道宮内交差点から東へ約1.8キロメートルの区間の歩道植樹柵に花植えを行いました。4種約2千本の花苗が植えられ、道は華やかに彩られています。



↑一本一本丁寧に植え、きれいな町をめざします



←左から太田恭司校長、中山昭洋会長、前畑市長

認められ、文部科学大臣から表彰されました。3年前から学校と家庭が一体となって児童の知育・徳育・体育につなげる「小ドリムプラン」に取り組み、成果を挙げていることが評価されました。

荒尾第一小学校PTAが 文部科学大臣表彰

荒尾第一小学校PTA(中山昭洋会長)が会員の熱意と協力により優れたPTA活動を、顕著な業績を挙げたことが

平成21年 荒尾市10大ニュース!

今年も残すところあとわずか。さまざまなことが起こった一年でしたが、ここでは荒尾市の一年を象徴する出来事をピックアップしました。

1 三池炭鉱旧万田坑施設 世界文化遺産 ユネスコ暫定一覧表掲載

平成21年1月、「九州・山口の近代化産業遺産群」がユネスコの世界遺産暫定一覧表に追加掲載されました。10月には専門家委員会の提言書に構成資産として万田坑が盛り込まれるなど、本登録に向けて機運が高まっています。

2 「新型インフルエンザ」 荒尾市内でも感染確認・流行

世界的に広がっている「新型インフルエンザ」は荒尾市内でも流行し、小中学校においても500人を超える児童・生徒が感染し、休校・学年閉鎖が相次ぎました。市でも感染予防のための指導・啓発を行い、沈静化に努めています。

3 東邦ホールディングス(株)と 立地協定調印

水野北工業団地に医薬品の物流センターを建築する立地協定調印を10月に行いました。80人の新たな雇用創出に加え、経済効果も期待されます。事業開始は平成23年4月見込みです。

4 「あらおよかよか元気券」 発売開始

荒尾商工会議所では1万円分1万1千円分の買物を市内の取扱加盟店で使用できる商品券を発売しました。市も発行額の1割のプレミアム分を補助することで、地元商店街の活性化を図りました。

5 第89回全国ラグビー 大会へ荒尾高校出場

荒尾高校ラグビー部は、県予選大会決勝で九州学院を43-5で破り、花園進出を決めました。2年ぶり4度目の快挙で、今回はベスト8以上の成績をめざしています。

6 荒尾一中・二中統合校名 「荒尾海陽中学校」に決定

学校規模適正化計画に基づき、平成22年度に統合されスタートする新しい中学校名が公募により決定しました。有明海に面した学校で、太陽が「元気な荒尾」の明るい展望ある未来をイメージさせることが選定の理由です。

7 荒尾一心会による 「荒尾かぶれ」発表 ご当地スイーツ誕生

市内菓子業者5店舗で結成している荒尾一心会が「2030 あらお有明優都戦略プロジェクト」の一環として、梨などの特産品を使い約20種類の菓子を開発、販売を始めました。マスコミにも大きく取り上げられ、新たな土産品として好評を博しています。

8 全小中学校で 2学期制がスタート

平成20年度のモデル校7校(3小学校、4中学校)での試行を経て、平成21年度から全学校での2学期制を実施しました。長期休業日を含めた学期にすることにより「学びを連続させること」が、学力向上につながると判断されたものです。

9 万田坑ステーション完成

世界遺産登録をめざす万田坑案内施設として、日本宝くじ協会の助成により4月に完成しました。建物内には万田坑最盛期の昭和14年ごろの模様を再現した模型、パネル展示や映像設備を設け、万田坑への理解を深める施設として期待されています。

10 競馬あり方検討会を 開催し、市長に提言

赤字経営が続いている荒尾競馬の今後のあり方について、有識者や市民代表を加えた7人の委員による検討会から、短期自主経営健全化計画(平成21~23年度)の収支状況と将来の見通しをもって判断するのが妥当とする提言が10月、市長に提出されました。